

日曜日礼拝順序

憩いの場

2019年3月24日 午前11時 南部チャペル

“主にある確信と和合”

前奏		森田みゆ姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
讚美	賛美歌164	“こひつじをば ほめたたうる”
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		一同
	マルコによる福音書5章35-43節	
讚美	賛美歌368	“つとめいそしめ 花のうえの”
説教	“主イエスのみことば 4”	Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌217	“あまつましみず ながれきて”
献金		加納幸子姉
報告		
頌栄	541	
祝禱		Scroggins 由紀牧師
後奏		森田みゆ姉

(礼拝終了:奉仕開始)

ランチと交わりの時 礼拝後 南部チャペル

“。。。あなたがた自身のうちに塩を持ちなさい。そして、互に和らぎなさい。” (マルコによる福音書9章50節)

私たち人間には塩は必要で、ほかのものは嫌いでも、塩が嫌いという人はいないのではないのでしょうか。夏に水を補給するときも、水だけでなく塩分も必要とはよく言われます。しかし、最近、様々な加工された食べ物には塩分が既に含まれていて、確かに、しばらく塩分の少ない食事をして、急に塩けのあるチップスなどを食べると、びっくりするほど塩分が使われているのが分かります。考えてみると、味覚音痴の人でも塩味は分かるので、わかりやすい味なのかもしれません。

さて、塩、というのは主イエスの時代にも存在していて、聖書の中で、主は、弟子たちに向かって、あなたがた自身のうち塩を持ちなさい。そして、互に和らぎなさい、といわれました。互に和らぎなさい、とは新改訳では、互いに和合して暮らさなさい、と書かれています。塩を持つ、という意味は、あなた方は、世の光、地の塩である、と主イエスが言われたように、主にある信仰からくる世の中への影響力です。弟子たちは、主イエスに対して、部外の人が主イエスの御名を用いたことに対して、自分たちの仲間でないのでやめさせた、といいましたが、それをイエスは、“私たちに反対しないものは、私たちの味方である”、といわれて容認され、また小さいもの(主を信じて日の浅いもの)を躓かせないように、と厳しく言われ、互に和らぎなさい、といわれました。(40-50節) 英語では Be at peace with each other とも書かれていますが、それぞれが主にある信仰と確信をもつことは、和合して暮らすための基本であるようです。

この世は分派心、敵対心に満ちていますが、主を信じる私たちは、確信を保ち、和合して暮らせますようにお祈りしています。
(Scroggins 由紀)

記事: 消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のために、また旅行をされている方々の安全のために祈りください。

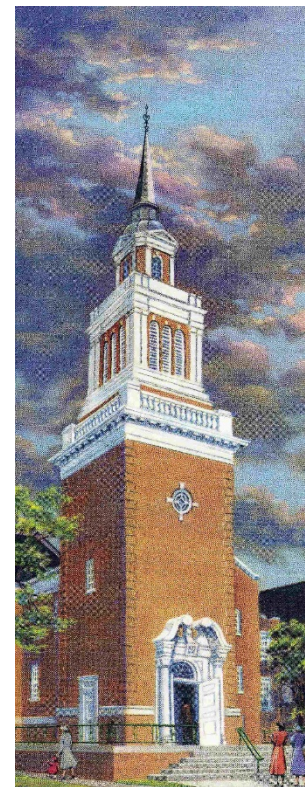
—先週の日曜日は、Encounter Point にて礼拝を持ち、その後もランチを囲んで楽しい交わりの時間を過ごしました。Encounter Point のスタッフの人々のホスピタリティに感謝いたします。

お知らせ

—3月31日の午前9時30分より、南部チャペルにて、求道者（信者ではないがキリスト教に興味を持っている）や教会をしばらく離れている人々のために、初心者向けの聖書入門書を用いた集まりを開きます。参加費は無料です。

—本日と3月31日は、オルガニストの鈴木兄の休暇のため、森田みゆ姉が代わりにオルガンを弾いてくださいます。森田姉に感謝いたします。Welcome!

—4月7日は午後3時から英語部の Michael Ware 牧師の就任式があります。どうぞ皆さんご参加ください。



週報

第3714号

2019年3月24日

発行: 2019年3月20日ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話: 773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org